

改訂日 2013年05月02日

## 製品安全データシート

## 1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称	コロナフロアブル
製品コード	AK4201J
会社名	アグロ カネショウ株式会社
住所	〒107-0052 東京都港区赤坂4-2-19 赤坂シヤスタースト7F
電話番号	03-5570-4711 (所沢事業所:04-2003-7006)
緊急時の電話番号	同上
FAX番号	03-5570-4708 (所沢事業所:04-2003-7302)
メールアドレス	<a href="mailto:toiawase@agrokanesho.co.jp">toiawase@agrokanesho.co.jp</a>
推奨用途及び使用上の制限	農薬(殺菌剤)

## 2. 危険有害性の要約

## GHS分類

物理化学的危険性	引火性液体	区分外
	自然発火性液体	区分外
健康に対する有害性	急性毒性(経口)	区分外
	急性毒性(経皮)	区分外
	皮膚腐食性・刺激性	区分外
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分外
	皮膚感作性	区分外
環境に対する有害性	水生環境急性有害性	区分外
	※記載がないものは「分類対象外」または「分類できない」	

## ラベル要素

絵表示又はシンボル	該当なし
注意喚起語	該当なし
危険有害性情報	該当なし
注意書き	

## 【安全対策】

該当なし

## 【応急措置】

該当なし

## 【保管】

該当なし

## 【廃棄】

該当なし

## 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別	混合物
成分及び含有量	

## [有効成分]

化学名又は一般名	硫黄
分子式(分子量)	S
CAS番号:	7704-34-9
官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	化審法: - 安衛法: -
濃度又は濃度範囲	52%

## [その他成分]

化学名又は一般名	水、界面活性剤等
濃度又は濃度範囲	48%

<b>4. 応急措置</b>		
吸入した場合		被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させ、医師の診断、手当てを受けさせること。
皮膚に付着した場合		汚染された衣類を取り除き、石鹼と多量の水で洗い流すこと。皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。
目に入った場合		直ちに水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合		無理に吐かせないで直ちに医師の診断、手当てを受けさせること。
<b>5. 火災時の措置</b>		
消火剤		水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類
使ってはならない消火剤		棒状放水
特有の危険有害性		火災によって刺激性、腐食性及び/又は毒性のガスを発生するおそれがある。
特有の消火方法		危険でなければ火災区域から容器を移動する。
消火を行う者の保護		消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。
<b>6. 漏出時の措置</b>		
人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置		屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入を禁止する。作業者は適切な保護具(『8. ばく露防止措置及び保護措置』の項を参照)を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵等を吸入しないようにする。
環境に対する注意事項		風上から作業し、風下の人を待避させる。流出した製品が河川等へ排出され、環境への影響を起ささないように注意する。
封じ込め及び浄化方法・機材		回収後の少量の残留分は土砂またはおがくず等に吸収させる。漏出物を直接に河川や下水に流してはならない。
<b>7. 取扱い及び保管上の注意</b>		
取扱い	技術的対策	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
	局所排気・全体換気	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。
	安全取扱い注意事項	この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。取扱い後はよく手を洗うこと。屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。ミストの吸入を避けること。適切な保護具を着用すること。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。必要などき以外は、環境への放出を避けること。
保管	接触回避 技術的対策 混触危険物質 保管条件	『10. 安定性及び反応性』を参照。 データなし
	容器包装材料	『10. 安定性及び反応性』を参照。 容器を密閉して保管すること。 施錠して保管すること。 データなし

**8. ばく露防止及び保護措置**

設備対策	局所排気装置を設置すること。
管理濃度	設定されていない。
許容濃度	設定されていない。
(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)	
保護具	適切な呼吸器保護具(保護マスク)を着用すること。
呼吸器の保護具	適切な保護手袋(不浸透性手袋)を着用すること。
手の保護具	適切な眼の保護具(ゴーグル型保護眼鏡)を着用すること。
眼の保護具	適切な保護衣(耐薬品性エプロン等)を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
衛生対策	取扱い後はよく手を洗うこと。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

**9. 物理的及び化学的性質**

物理的状态	形状	懸濁液体
	色	類白色
	pH	8.2
比重(密度)		1.407 (20°C)

**10. 安定性及び反応性**

安定性	通常の条件下では安定。
危険有害反応可能性	通常の条件下では安定。
避けるべき条件	データなし
混触危険物質	データなし
危険有害な分解生成物	通常の条件下では生成しない。 加熱や燃焼により分解し、有害ガスを発生するおそれがある。

**11. 有害性情報**

急性毒性 経口	ラット雌LD50 >2000 mg/kgに基づき、区分外とした。
経皮	ラット雌雄LD50 >2000 mg/kgに基づき、区分外とした。
皮膚腐食性・刺激性	ウサギにおいて刺激性が認められたが、軽微であったため区分外とした。
眼に対する重篤な損傷・刺激性	ウサギにおいて刺激性が認められたが、軽微であったため区分外とした。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	皮膚感作性: モルモットにおいて皮膚感作性がみられなかったことから、区分外とした。

**12. 環境影響情報**

水生環境急性有害性	コイ96時間LC50値 >100mg/L、ミジンコ48時間EC50値 >100mg/L、藻類72時間EC50値 >100mg/Lであったことから、区分外とした。
-----------	--

**13. 廃棄上の注意**

残余廃棄物	廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
汚染容器及び包装	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

**14. 輸送上の注意**

国際規制	該当しない。
国内規制	輸送に関する国内法の規定に従った容器、積載方法により輸送する。
特別安全対策	輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、

漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。  
重量物を上積みしない。

## 15. 適用法令

農薬取締法	第17897号
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)	該当しない。
労働安全衛生法	該当しない。

## 16. その他の情報

### 財団法人 日本中毒情報センター

散布作業中や散布後に異常を感じた場合は、直ちに医師の手当てを受けてください。  
処置法などで不明なことは、医師から下記に電話してお尋ねください。

中毒110番	一般市民向け	医療機関専用有料電話 (1件につき2,000円)
大阪 (365日, 24時間対応)	072-727-2499	072-726-9923
つくば (365日, 9~21時対応)	029-852-9999	029-851-9999

1. 記載内容は現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。
2. 注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合は、用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。
3. 記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。